

2011～2012年度
330複合地区ガバナー協議会
第4回（特別）グローバルアシスト委員会

日時 2011年9月22日（木）12時～14時
会場 330複合地区ガバナー協議会事務局会議室

出席者

委員長 桜井孝一 副委員長 矢部祥榮 委員 坂本潤之輔
委員 佐原幸雄 委員 内田吉則 委員 河村賢治 委員 赤坂 稔
議事録作成者 赤坂 稔

議事の要領

定刻を20分過ぎ副委員長矢部祥榮開会を宣す。委員長遅れるため自ら議長となり、当委員会として35準地区の被災地支援に関するアクトの内容を調査することとなった件、及び前回協議したポシュロム社による130万ドルの使途について協議したい旨を説明。ここで、遅れていた桜井委員長が出席。

12時40分 桜井委員長「被災地支援が様々な形、内容で行われている中で著名人、政治的関係者などの名前も挙がっており、売名行為と思われるようなものも見聞きする。ライオンズクラブはそのような事に関わったり、利用されたりしてはならないと思う。また、クラブのアクトにしても前回話題にもなったが、教育育英資金の立ち上げが先行して問題になっているようだ。

ライオンズは新年度に入り、ここで地域のニーズを把握し、新たな資金、無償物資の援助に乗り出したい。そこで、すでに矢部副委員長よりお話があったと思うが、今日までの各クラブのアクトの内容を把握し、その上でライオンズクラブにふさわしいアクトを真剣に考えるべき時と思う。」（要旨）

この後、佐原委員を中心に、調査報告書のフォームを検討、10原案を作成しておおむね10月末までに回収することを決定して会議を終了した。